

2024年度 決算実績

2024年度 経営総括レビュー（定量）

- 売上収益は主要市場での需要減退による新車売上の減少にて、過去最高業績となった前年度より 2%減収
- 調整後営業利益は前年度比 14%減益、親会社株主に帰属する当期利益は前年度比 13%減益

(単位：億円)

		2024年度実績	2023年度実績	前年比増減率
継続事業	売上収益	13,713	14,059	△2%
	調整後営業利益 ※1	1,450	1,680	△14%
	営業利益	1,547	1,627	△5%
	税引前当期利益	1,342	1,605	△16%
	継続事業からの当期利益	904	1,163	△22%
非継続事業からの当期損失		14	△118	—
親会社株主に帰属する当期利益		814	933	△13%
EBIT ※2		1,474	1,675	△12%
1株当たり配当金 ※3		175円	150円	25円

※1 [調整後営業利益] は、「売上収益－売上原価－販売費及び一般管理費」により計算している利益指標です。

※2 [EBIT] は、税引前当期利益から、受取利息の額を減算し、支払利息の額を加算して算出した指標です。
(EBIT=Earnings before interests and taxes)

※3 [1株当たり配当金] は、連結業績に連動した剰余金の配当を原則として、中間と期末の2回に分けて同一年度に2度実施する方針であり、連結配当性向 30%～40%を目安に安定的かつ継続的に実施することを基本として株主利益の最大化を図ります。

2024年度 経営総括レビュー（定性）

経営戦略の柱	主な実績
顧客に寄り添う革新的ソリューションの提供	■ 新サービスやコンセプトモデルでLANDCROSの具現化を訴求 ・ 2024年7月、あらゆるステークホルダーに「革新的ソリューションを提供したい日立建機グループの想い」の証として、ニューコンセプト「LANDCROS」を発表。 ・ 2025年4月に開催された世界最大級の建設機械展示会「bauma 2025」でコンセプトモデル「LANDCROS One」を展示。また、LANDCROSを冠した初のサービス「LANDCROS Connect」をリリース。 ■ フル電動ダンプトラック実証試験 ・ 2024年6月に、ザンビアの鉱山現場で世界初となる超大型フル電動ダンプトラックの実証試験を開始。2027年度の製品化に向け、充電性能や走行速度、バッテリー走行航続距離などの検証を進行中。 ■ デジタルデータを最大限に活用したソリューションの提供 ・ 当社製の建設機械だけでなく、お客さまが保有するさまざまなメーカーの機械を一元管理する「LANDCROS Connect」を2025年4月より提供開始。 ・ スタートアップ企業からアイデアを募る「日立建機チャレンジ2024」を11月にアメリカで開催。優勝企業との協業を検討するなど、オープンな体制での技術・製品開発を推進。
バリューチェーン事業の拡充	■ 海外拠点を中心にサーキュラーエコノミーの実現に貢献する取り組みを強化 ・ プレーキ サブライ社の鉱山機械コンポーネント再生事業を買収。 ・ カザフスタンで鉱山機械コンポーネント再生工場を開所。
米州事業の拡大	■ 北米全域へのサービス部品供給体制の強化 ■ 北米事業強化、中南米進出 ・ チリに中南米地域統括会社である「日立建機ラテン・アメリカ」を設立。 ・ ブラジルに丸紅株式会社と共同でマイニング販売・サービス会社となる、ザマイン・ブラジル社を設立。
人・企業力の強化	■ 日立建機グループ全体の製品開発力を強化 ・ インドのカルナータカ州フブりに建設機械の開発・設計を行う新会社「日立建機開発センターインド」を設立。 ・ インドネシアで120tクラスの超大型油圧ショベルを量産開始。

※一部、2025年度以降の取り組み内容を含みます。

2024 年度 決算実績

連結地域別売上収益

堅調なマイニング需要の取り込みによりアフリカ、オセアニアで増収となった一方、欧州、北米、アジアで減収となりました。米州独自展開は、大きく伸長した前年との比較では減少しましたが、リテール販売に基づく北米市場シェアは着実に増加しています。

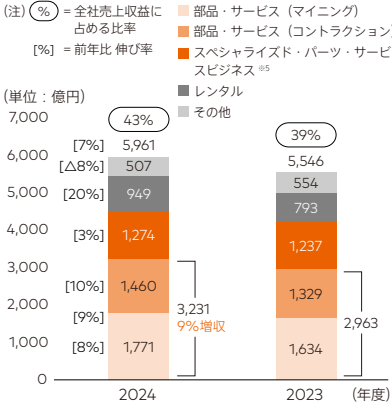
(単位：億円)

		2024年度実績		2023年度実績		前年比	
						金額	増減率
日本		2,200	16%	2,269	16%	△69	△3%
アジア		1,185	9%	1,270	9%	△85	△7%
インド		875	6%	850	6%	25	3%
オセアニア		2,589	19%	2,511	18%	78	3%
欧州		1,597	12%	1,829	13%	△232	△13%
米州	北米	3,124	23%	3,344	24%	△220	△7%
	中南米	438	3%	409	3%	28	7%
内:独自展開		3,561 (2,102)	26% (15%)	3,752 (2,175)	27% (15%)	△191 (△73)	△5% (△3%)
ロシアCIS		196	1%	234	2%	△38	△16%
中東		336	2%	347	2%	△11	△3%
アフリカ		850	6%	704	5%	146	21%
中国		325	2%	292	2%	33	11%
合計		13,173	100%	14,059	100%	△346	△2%
海外売上収益比率		84%	—	84%	—	—	—

バリューチェーン※4 売上収益推移

2024年度は、前年比7%増の5,961億円となり、過去最高収益を更新しました。部品・サービス収益が前年比9%の増収となったほか、レンタル収益が20%増収、スペシャライズド・パーツ・サービス収益が3%の増収となりました。連結売上収益に占めるバリューチェーン売上比率は43%で、前年比で4ポイント伸長しました。

※4 バリューチェーン：新車販売以外の事業である部品・サービス、スペシャライズド・パーツ・サービスビジネス、レンタル等の事業合計。
※5 スペシャライズド・パーツ・サービスビジネス：建設機械ビジネスセグメントに含まれないマイニング設備および機械のアフターセールスにおける部品開発、製造、販売およびサービスソリューションの提供。



連結キャッシュフロー

2024年度は、営業キャッシュフローは1,439億円のポジティブとなりました。投資キャッシュフローは、米州スペシャライズド・パーツ・サービス事業拡大のためのプレーキ サプライ社事業取得もあり、前年比138億増加の528億円の支出となりました。投資キャッシュフローの支出を含むフリーキャッシュフローは911億円のポジティブとなりました。

(単位：億円)

	2024年実績	2023年実績	前年比増減額
営業活動に関するキャッシュフロー	1,439	730	709
営業キャッシュフロー・マージン率	10.5%	5.2%	5.3%
投資活動に関するキャッシュフロー	△528	△390	△138
フリーキャッシュフロー	911	340	571
財務活動に関するキャッシュフロー	△854	△89	△765